



## 情報共有・分析機能の整備について

2008年 1月 31日

内閣官房 情報セキュリティセンター (NISC)

## 重要インフラの情報セキュリティ対策に係る行動計画

### 4. 情報共有体制の強化 (2) 情報共有・分析機能(CEPTOAR)

#### ア 機能・役割

##### 政府からの情報提供窓口

内閣官房から重要インフラ所管省庁を通じて情報提供を受けた際に、CEPTOARからその関係構成員である重要インフラ事業者等に対して当該情報を速やかに提供する。

##### 関係機関等との情報共有

各重要インフラ分野のITの利用形態に合わせた詳細な情報など、上記 の情報を補完する情報入手について、関係機関や他分野CEPTOAR等との間で相互に合意される場合には、その合意に基づき直接情報共有を行う。

#### イ CEPTOARに求められる要件

CEPTOARは、以下の機能を最低要件として備える必要がある。

内閣官房が提供する情報の取扱いに関する取極め、機密保持及び外部への情報提供に関し、構成員間で合意されたルールが存在すること。

緊急時に各構成員及び外部との連絡が可能な窓口(POC: Point of Contact)が設定されていること。

なお、将来的には、分野内の情報集約及び情勢判断を行う能力があるコーディネータが設置されることが望ましい。  
また、分野の特性等に応じて、既存の事故情報等の情報共有体制を活用しながら効率的かつ効果的な体制を構築することにより、上記要件を付加していく方向もあり得る。

セ プ タ ー

\* CEPTOAR(情報共有・分析機能): Capability for Engineering of Protection, Technical Operation, Analysis and Response

(「セキュア・ジャパン2007」より)

各重要インフラ分野におけるCEPTOAR整備の推進(重要インフラ所管省庁)

2007年度末までに、新規追加分野(水道、医療及び物流)においてCEPTOARが整備されるよう取組を進める。

「CEPTOAR特性把握マップ」のフォローアップ(内閣官房)

2007年度中に、各分野におけるCEPTOARの機能・要件の検討状況及び整備状況(新規追加分野については整備状況)の把握を行う。また2007年度末を目処に、CEPTOAR特性把握マップのフォローアップを行う。

## セキュア・ジャパン2006を踏まえた取り組み

### CEPTOAR整備7分野

- ・7分野で合計11のCEPTOARが整備完了。2007年4月より運用を開始。
- ・各CEPTOARとも、最低限の要件(「情報取扱いルール」、「緊急時に連絡可能な窓口」)は整備
- ・このうち4分野(7CEPTOAR)では、障害事例分析、情勢判断等を初年度から整備。

< 2007年4月：第11回情報セキュリティ政策会議報告 >

## セキュア・ジャパン2007を踏まえたフォローアップ(案)

### CEPTOAR整備(新規3 + 既存7)10分野

< 把握状況を4月に報告 >

## 主なフォローアップの観点

- ・2007年度中の整備を予定している新規3分野(医療、水道、物流)の整備した機能等をNISCで確認し、CEPTOAR特性把握マップ及び概要(別紙)にて提示する。
- ・既存7分野についても、2008年3月末時点内容に修正する。その際、「構成員」項目に於いては、主な事業者等も示す。
- ・「整備状況等」や「緊急窓口」項目の共通内容については、一括表記に変更する。

# 「CEPTOAR特性把握マップ」について(様式案)

2008年3月末日現在

重要インフラ分野	情報通信		金融				航空	鉄道	電力	ガス	政府・行政サービス	医療	水道	物流
<b>概要</b>	電気通信	放送	銀行等	証券	生命保険	損害保険	航空	鉄道	電力	ガス	地方公共団体			
事業の範囲	電気通信	放送	金融CEPTOAR連絡協議会				航空	鉄道	電力	ガス	地方公共団体			
名称	T-CEPTOAR	放送における情報共有体制	銀行等CEPTOAR	証券CEPTOAR	生命保険CEPTOAR	損害保険CEPTOAR	航空分野におけるCEPTOAR	鉄道CEPTOAR	電力におけるIT障害に係る情報共有・分析機能	GASCEPTOAR	自治体CEPTOAR			
事務局	財団法人マルチメディア振興センター	総務省情報通信政策局地上放送課	全国銀行協会事務システム部	日本証券業協会IT管理室	社団法人生命保険協会総務部組織人事グループ	社団法人日本損害保険協会業務企画部企画安全グループ	国土交通省航空局航空保安対策室	国土交通省鉄道局危機管理室	電気事業連合会情報通信部	社団法人日本ガス協会保安技術グループ	財団法人地方自治情報センター自治体セキュリティ支援室			
整備状況等	平成19年3月末に整備													
構成員	26社・団体	195社・団体	1822社	317社	38社	25社(オブザーバ-3社)	2グループ3機関	22社1団体1機関	12社2機関	10社	1877団体			
(主な事務担当者)														
<b>機能</b>	緊急窓口(POC) 平成19年4月より運用開始													
情報の取扱いルール	平成19年1月制定	平成19年3月制定	平成19年3月制定	平成19年3月制定	平成19年3月制定	平成19年3月制定	平成19年3月制定	平成19年3月制定	平成18年9月制定	平成19年3月制定	平成19年3月制定			
情報と連絡手段	障害事例情報等 メール、電話、FAX	障害事例情報等 メール、電話、FAX	障害事例情報等 メール、電話	障害事例情報等 メール、電話、FAX、WEB	障害事例情報等 メール、電話	障害事例情報等 メール、電話	障害事例情報等 メール、電話	障害事例情報等 メール、電話	障害事例情報等 メール、電話、FAX、WEB、会議	障害事例情報等 メール、電話、FAX、WEB	障害事例情報等 メール、電話、FAX、WEB			
<b>特徴</b>	<p>2008年3月末日時点での既設分野の修正内容及び新規分野の内容を確認し提示</p> <p>運営委員会のもとに、業態の違いによる4つのSGを設置し、全体として密な情報共有の実現を目指す。</p> <p>Telecom-ISAC Japan及び社団法人電気通信事業者協会における情報共有等の先進的な取組が母体。</p> <p>T-PoC(T-CEPTOARのPoC)及び4つのSGの代表者によって構成される運営委員会において、情勢判断等を実施。</p> <p>災害対応時等の連絡体制を活用する体制とした。</p> <p>情報セキュリティ対策委員会及び財団法人金融情報システムセンターによる障害事例分析等を実施し、分析結果を通知する機能を有する。</p> <p>各証券関連団体及び財団法人金融情報システムセンターによる障害事例分析等を実施する機能を有する。</p> <p>分野内の利用システム調査を年1回実施。</p> <p>社団法人生命保険協会及び財団法人金融情報システムセンターによる障害事例分析等を実施し、分析結果を通知する機能を有する。</p> <p>分野内の利用システム調査を年1回実施。</p> <p>社団法人日本損害保険協会及び財団法人金融情報システムセンターによる障害事例分析等を実施し、分析結果を通知する機能を有する。</p> <p>航空分野による障害事例分析等を実施し、分析結果を通知する機能を有する。</p> <p>国土交通省鉄道局危機管理室(Face to Face)を含め、情報共有の取組が現在進められており、現在運用されているシステムを基に、報告を活用して情報の共有を図ることとしている。</p> <p>分野内では、電力中央研究所も体制に参画する。</p> <p>業界内でIT障害の判断基準となる考え方を共有できるように、実務者による常設のWGが、未然防止策や再発防止策等の具体的な取り組み課題を適切にサポートする。</p> <p>地方公共団体の情報セキュリティ対策の強化に役立つ情報やツールを行政専用ネットワーク(LGWAN)を活用して、メール及びポータルサイトにより提供</p> <p>平成18年11月から19年3月までCEPTOAR整備に向けた実証実験を実施。</p> <p>実証実験の中で、情報漏洩をテーマにした演習を一部団体で実施。</p>													

(注)本マップは、各CEPTOARの自主的な整備状況を把握し、マップとして取り纏めたもの。

Ver. 2

名称	(電気通信) T - CEPTOAR
事務局	(財)マルチメディア振興センター
概要	<p><b>1. 概要</b> IT障害の未然防止、IT障害の拡大防止・迅速な復旧、IT障害の要因等の分析・検証による再発防止を図り、電気通信事業者のサービスの維持・復旧能力の向上に資するため、政府等から提供される情報を適切に電気通信事業者等間で共有・分析することを目的に、電気通信分野の「情報共有・分析機能(CEPTOAR)」として、「T-CEPTOAR」を設置。</p> <p><b>2. 構成・機能</b> 【構成】 (1) T-CEPTOAR運営委員会の設置 (2) 以下に掲げるSGを設置 (ア) 固定系のネットワークインフラを設置する電気通信事業者等から構成されるSG (SG1) (イ) アクセス系の電気通信事業者等から構成されるSG (SG2) (ウ) ISP事業者等から構成されるSG (SG3) (エ) 携帯電話事業者等から構成されるSG (SG4)</p> <p>【機能】 (1) 電気通信事業におけるIT障害の未然防止、IT障害の拡大防止・迅速な復旧、IT障害の要因等の分析・検証による再発防止のための構成員間の情報共有及び連携 (2) 政府、他のCEPTOAR等から提供される情報の構成員への連絡 (3) 政府、他のCEPTOAR等から提供される情報に関連する事項の構成員間の情報共有</p> <p><b>3. 特色・特徴</b> ・4つのSGを設置し、密な情報共有の実現を目指す ・これまでの活動・現行組織を基盤にした実効性のある体制</p>

2008年3月末日時点での  
修正内容を確認し提示

名称	
事務局	
概要	<ul style="list-style-type: none"><li>1. 概要</li><li>2. 構成・機能</li><li>3. 特色・特徴</li></ul> <div data-bbox="689 560 1794 1315" style="border: 1px solid black; padding: 10px; transform: rotate(-15deg); text-align: center;"><p><b>2008年3月末時点での 新規3分野に概要を確認し提示</b></p></div>